

■防災備蓄品等整備状況

(平成27年10月31日現在)

備蓄品等	整備数
備蓄倉庫	16 基
テント	122 張
エアテント	6 張
簡易トイレ	15 基
クイックパーティション	2 基
避難場所標識	44 枚
暖房機器	62 台
発電機	7 台
灯油缶	62 缶
毛布	2, 620 枚
アルミマット	200 枚
備蓄食料	7, 840 食
備蓄飲料(水 500ml)	10, 080 本
備蓄飲料(水 1. 5 l)	1, 700 本
粉ミルク	624 袋
ほ乳瓶	100 本
紙おむつ(乳幼児)	2, 624 枚
おしりふき	30 パック
生理用品	43 パック
太陽電池灯	43 基
LEDランタン	200 個
ラジオ	136 台
A E D	5 台
衛星携帯電話	3 台

東日本大震災を踏まえ、北海道は津波体積物データに基づき、北海道太平洋沿岸部における最大クラスの津波を想定した調査研究を行い、平成24年に『新たな津波浸水予測図』を発表しました。この予測によると、末広地区では津波の第1波到達時間が24分、最大遡上高が34・7メートルの予測が発表されました。

これを受け、町は、津波・高潮時の緊急避難場所を見直すとともに、皆さんの住宅や学校、職場などから避難する際の判断の目安として、津波ハザードマップを作成し、町内全戸に配布しました。さらには、一部の避難場所では、より高いところに、速やかに避難できるように避難階段を整備するとともに、各避難場所に備蓄倉庫を設置し、テントやポータブルストーブ、灯油、毛布などを整備しました。

震災後における厚岸町の防災対策

しかし、これらの備蓄品については、全ての避難場所に配備できていないため、まだ十分な体制とは言えません。今後も、備蓄品の整備を充実させるとともに、適正な管理に努め、いつ発生するか分からない大地震や大津波に向けた対策を講じていきます。

避難訓練については、休日での各家庭における避難体制を確認することなどを目的として、より多くの皆さんに参加していただくため、平成23年度から実施日を10月の昆布漁が終了した日の翌週の日曜日に変更して実施してきました。今後は、自治会や学校などと共同で訓練を検討するとともに、実践に即した訓練を行うことで、地域防災力の向上を図っていきます。

また、東日本大震災では、多数の被災者が長期にわたる避難所生活を余儀なくされました。このため、避難所生活の環境を整えることも課題として挙げられて



東日本大震災を教訓に 私たちは何ができますか？

平成23年3月11日(金)、午後2時46分、東北地方三陸沖を震源とするマグニチュード9・0、震度7の国内観測史上最大規模の地震が発生しました。この地震により、東北地方を中心とした東日本に大津波が襲い、死者・行方不明者合わせ2万人を超えるなどの甚大な被害をもたらしました。

一方、地震発生後、本町においては、札幌管区気象台から大津波警報発表を受け、直ちに『厚岸町災害対策本部』を設置しました。防災行政無線により沿岸地区の皆さんに避難勧告を発令し、直ちに高台へ避難するよう周知するとともに、各避難場所へ職員を配置しました。

各避難場所では、国道や道道で一部交通規制が行われていたこともあり、次々と避難者が押し寄せ、避難者数は最大で1千人を超えました。

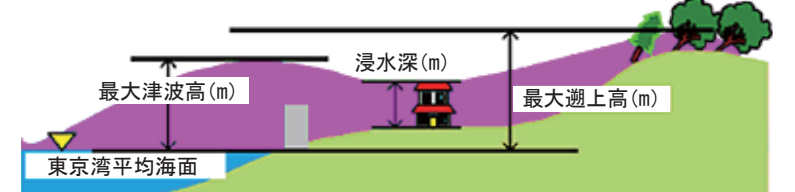
幸いにして、本町の人的被害はなかったものの、最大2・7メートルの津波が来襲し、湖南、湖北市街地を中心に200戸以上で床上・床下浸水の被害を受けました。このほか、カキ・アサリの養殖施設や各種事業所の設備機器などでも大きな被害を受けました。

■代表地点における津波浸水予測 (平成24年北海道発表：新たな津波浸水予測図より)

地名	第1波到達時間	最大遡上高
末広	24分	34.7m
床潭	24分	23.3m
若竹	28分	18.0m
白浜	29分	13.4m
門静	29分	15.0m

【第1波到達時間】
地震発生から第1波のピークが到達するまでの時間

【最大遡上高】
陸地に駆け上がった津波の最大の高さ



さらには、防災訓練や避難訓練のみならず、自治会を対象に、地震や津波などの大規模な災害が発生した場合を想定し、参加者全員でその対応を考える『災害図上訓練(DIG)』を実施しています。この訓練は、普段は意識しない地域の防災対策における現状と課題を明らかにし、参加者の防災意識と連帯感の向上を図ることができま。来年度以降も、引き続き自治会単位で災害図上訓練などを実施していきます。



避難所開設・運営訓練の様子

います。

町では、今年度、太田自治会を中心として、『十勝沖から根室沖までを震源域とした大地震が発生し、24時間後に2次避難所を太田活性化施設『らくとぴあ』に設置する』という想定のもと、『避難所開設・運営訓練』を実施しました。この訓練では、テントや仮設トイレの設営、避難者や救援物資の受け入れなど、事前の備えの重要性について理解を深めることができました。